GH05435Z

2006.07

TOTO

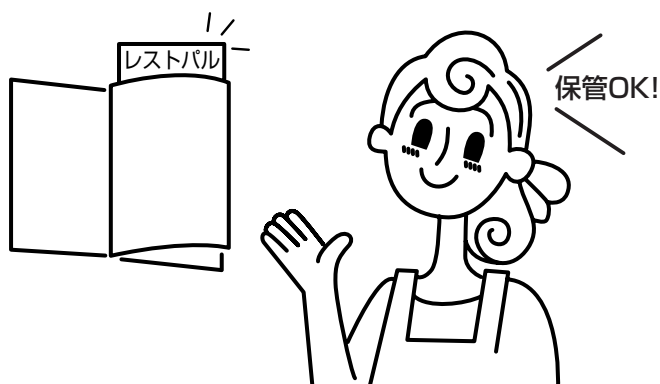
取扱説明書 保証書付

レストパルSX
(大便器キャビネット部)

お客様へ

■このたびは、レストパルSXをお求めいただき、まことにありがとうございました。取扱説明書は大切に保存しておいてください。
■添付の保証書には、お取付店名、お取付日、扱者印が記入してあることを確認してください。
■器具を正しくお使いいただくためにご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
■お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。
■この取扱説明書は、保証書付ですので大切に保存しておいてください。
■ウォシュレットにつきましては、ウォシュレット用の取扱説明書をご覧ください。
■ウォシュレットはTOTOの登録商標です。

クリアファイルの使い方

同封のクリアファイルは、ウォシュレットやその他器具の取扱説明書などの保管用にご活用ください。

工事店様へのお願い

貴店名ならびに据付け引渡日を保証書にご記入の上、お客様に必ずお渡しください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

1 安全上のご注意

この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

安全のために必ずお守りください

●表示と意味はつぎのようになっています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

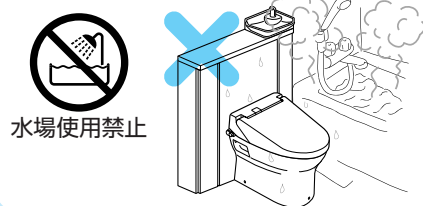
●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	絵表示の意味
分解禁止	⃠ は、してはいけない「禁止」の内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
必ず守る	❗ は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 左図は、「必ず守る」を示します。

⚠警告

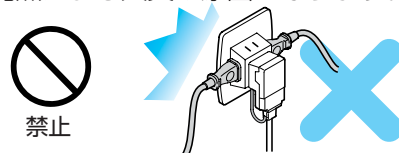
浴室などの湿気の多い場所に設置しない

- 火災や感電の原因になります。
- キャビネットの変形の原因になります。

水場使用禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

(ヒーター付便器、ヒーター付タンク、自動水栓または電気温水器付きの場合)

- たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。

禁止

ぬれた手で、スイッチやコンセント部分、電源プラグにさわらない

(ヒーター付便器、ヒーター付タンク、自動水栓または電気温水器付きの場合)

- 感電の原因になります。

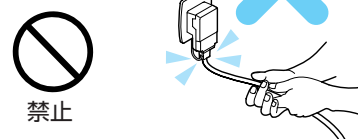
ぬれ手禁止

コンセント･電源プラグのコードを破損するようなことはしない

(ヒーター付便器、ヒーター付タンク、自動水栓または電気温水器付きの場合)

傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない

- 傷んだまま使用すると火災・感電・ショートの原因になります。

禁止

電気器具は絶対に分解したり、修理・改造は行わない

(ヒーター付便器、ヒーター付タンク、自動水栓または電気温水器付きの場合)

- 火災や感電の原因になります。

分解禁止

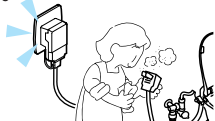
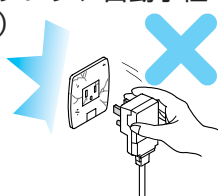
指定する電源（交流100V）以外では使用しない

- 火災の原因になります。

禁止

⚠警告

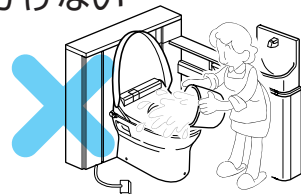
コンセント･電源プラグに付いたほこりなどは取り除き、根元まで確実に差し込む
（ヒーター付便器、ヒーター付タンク、自動水栓または電気温水器付きの場合）

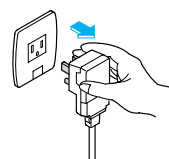
- 火災や感電の原因になります。
- プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ガタついているコンセントは使わない
（ヒーター付便器、ヒーター付タンク、自動水栓または電気温水器付きの場合）

- 火災や感電の原因になります。

アース（D種接地）工事がされていることを確認する

- アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因になります。アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。

電気温水器本体や自動水栓の駆動部、スイッチ、コンセント、電源プラグに水や洗剤、小便をかけない

- 火災や感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグ本体を持って引き抜く
（ヒーター付便器、ヒーター付タンク、自動水栓または電気温水器付きの場合）

- コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。

お手入れのときには、必ず電源プラグをコンセントから抜く

- 感電の原因になります。

※「ノズルそうじスイッチ」機能使用時は除く

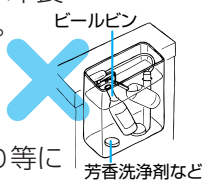
⚠注意

タンク内へ投込み式芳香洗浄剤等の使用は避ける

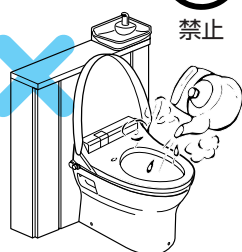
- 内部の部品と干渉し、止水不良になるおそれがあります。

禁止

ビールビン等は、タンク内に入れない

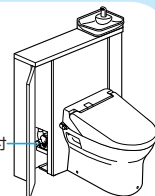
- 水量が減少し、便器詰まり等になるおそれがあります。

手洗器、キャビネット及び便器の鉢の中に熱湯をそそがない

- 手洗器、キャビネット及び便器が破損してケガの原因になることがあります。

禁止

- 止水栓でタンクへの流水量を調節してください。流水量が多すぎるとボールタップが故障したとき、オーバーフロー管から流れきれず、タンクからあふれて床を水びたしにしたり、階下に被害を及ぼすことがあります。

（止水栓の調節方法は7ページをご覧ください。）

フィルター（ストレーナ）掃除をする時は必ず止水栓を閉めてから行う

フィルター（ストレーナ）を外す時は、止水栓を閉めてから

便器には、汚物、トイレットペーパー以外のものは流さない

- 便器がつまり、汚水があふれてくるおそれがあります。

禁止

⚠注意

I型手洗器では石けん類を使わない

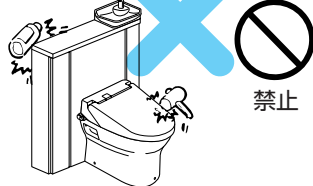
- 止水不良になるおそれがあります。

禁止

便器がつまった場合、市販の吸引器（商品名:ラバーカップなど）で詰まりを除去する

- そのままの状態で水を流すと汚水があふれるおそれがあります。

前板パネル、天板、手洗器、カウンター及び陶器に衝撃を与えない

- 前板パネル、手洗器、カウンター、天板及び陶器が破損し、ケガ、漏水の原因になります。

禁止

キャビネット天板、カウンター、棚、タオル掛け、ハンドグリップにぶらさがらない

禁止

- カウンター、棚、タオル掛け、ハンドグリップがはずれてケガの原因になります。

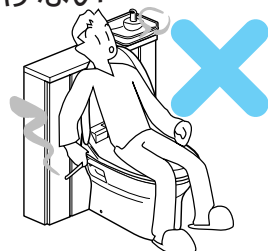
異常高温になる場所への設置はさける
ストーブなど近づけないように注意する
ヘアドライヤーの熱風を直接あてない

禁止

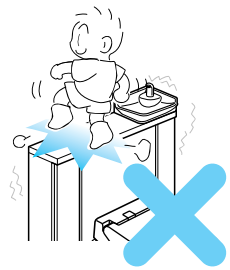
- 変形、変色の原因となります。

キャビネット、手洗器、カウンターにたばこなどの火気類を近づけない

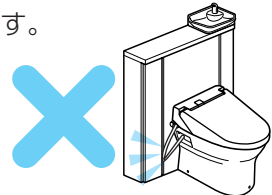
- 火災の原因になります。
- 変形、変色及び破損するおそれがあります。

火気禁止

キャビネット、天板の上に乗ったり、重いものを乗せない

- 割れてけがをする原因になります。

禁　止

ウォシュレット、手洗器の連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない

- 水漏れの原因になります。

禁　止

手洗器、カウンター、キャビネットのお手入れをするときは、適量にうすめた台所用洗剤（中性）を使用し、次のものは使わない

〔塩酸、強アルカリ性薬品、トイレ・バス用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナー及びクレンザー、ナイロンたわしなど〕

- 表面を侵したり傷つけたりして、割れてけがをする原因になります。

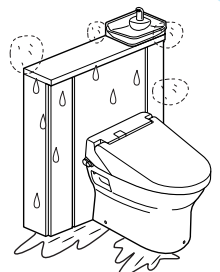
禁　止

手洗器の手洗鉢の中に芳香洗浄剤や飾りものなどを置かない

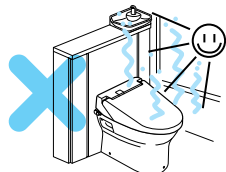
- 手洗鉢から水があふれるおそれがあります。

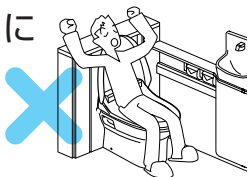
禁　止

便器やタンク及び給水管や止水栓の表面に露が発生した場合、乾いた布で拭き取る

- 床にシミを作ったり腐らせたりするおそれがあります。

次のことをお守りください。

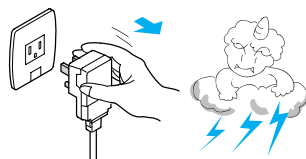
直射日光が当たらないようにする

- 変色の原因になります。

座ったまま後ろの便ふたに寄りかからない

- キャビネットが傷つく原因になります。

雷が発生しているときは、プラグを抜く

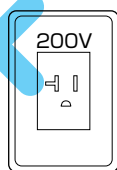
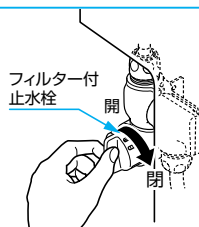
- 故障の原因になります。

凍結による破損の予防を行う

必ず守る

- 凍結すると給水配管や本体内部が破損して水漏れする原因になります。

水抜きのしかたは 19ページ

ヒーター付便器、ヒーター付タンク、自動水栓・電気温水器を直流電源や交流200V電源で使わない

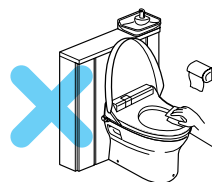
- 火災・漏電・故障の原因になります。

長期間留守にするときは、止水栓を閉めてお出かけください。こうしておけば留守中に万一の故障も起きず安心です。

手洗器に強酸、強アルカリの洗剤や薬品類は流さない

禁止

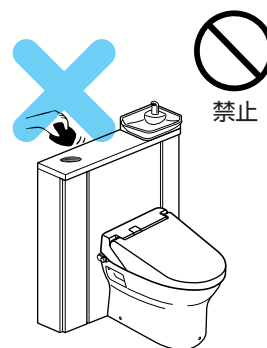
- 手洗器表面を浸し、割れてけがをする原因になります。
- 配管を痛め、穴が開き、水漏れの原因になります。

キャビネットは乾いた布やトイレットペーパーなどでふかない

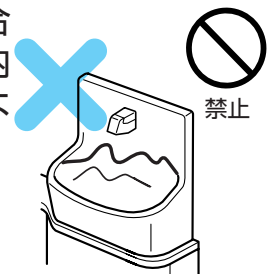
- 傷つきの原因になります。

お手入れのしかたは 12ページ

キャビネット天板にゴム製品を乗せない

禁止

- 材質によっては、ゴムの成分がキャビネット側にしみ出すことがありますので、ご注意ください。

自動水栓タイプの場合センサーの感知領域内に障害物が入らないようにする

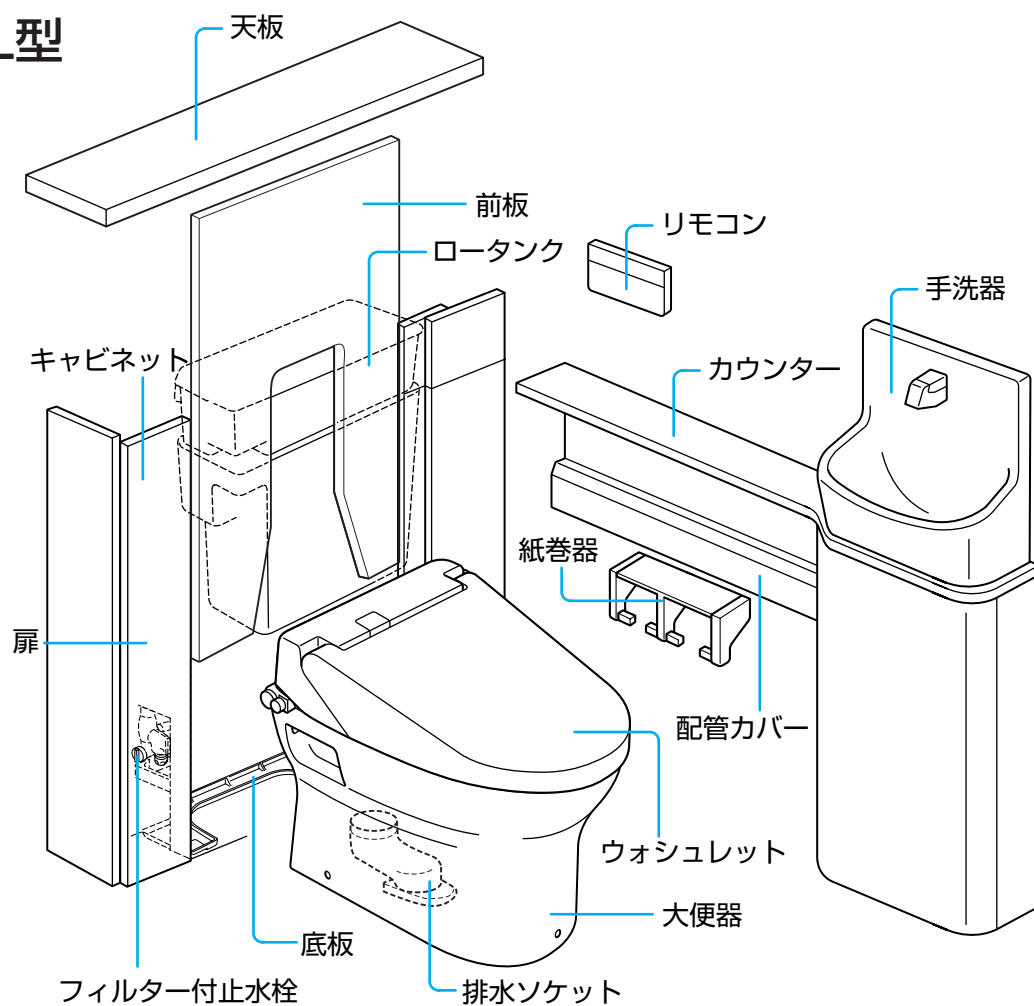
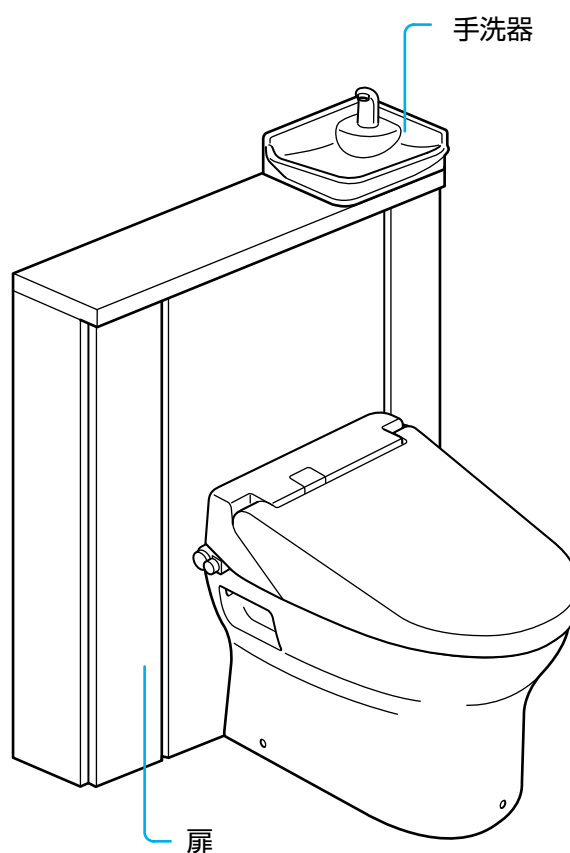
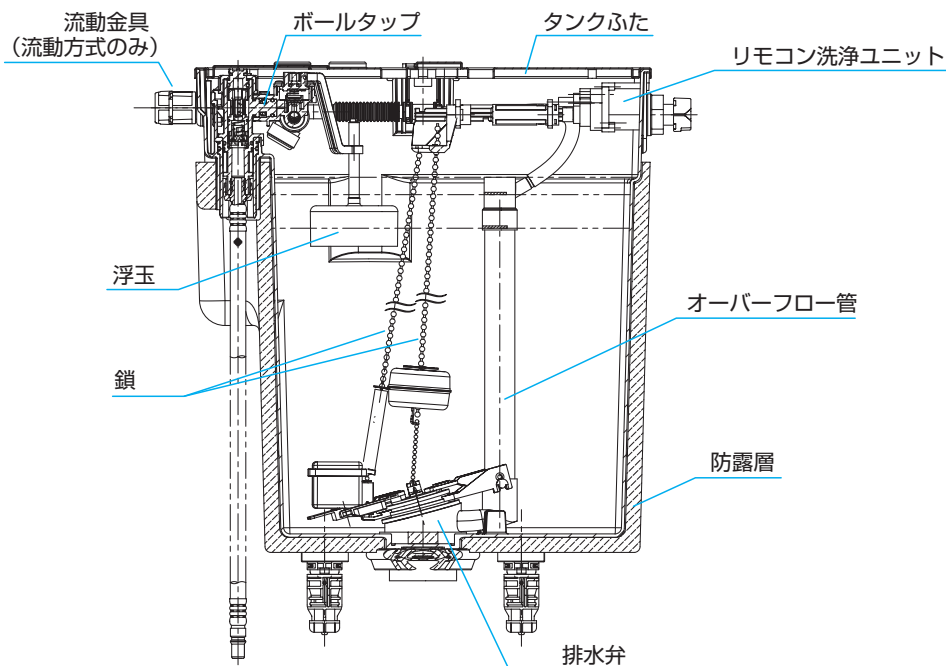
禁止

- 誤動作の原因になります。

吐水口をふさぐようなご使用は避ける

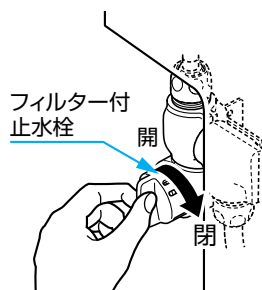
禁止

- スパウト部から水が浸入し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

この頁で各部のなまえをよくご理解していただき、その後のご使用にお役立てください。

L型

I型

〈タンク部〉

主要部分の役目

フィルター付止水栓

- 水道の水はここを通ってボールタップにいきます。止水栓はボールタップにいく水を止めることと、タンクへの流水量を調節する役目をします。

フィルター

- ボールタップ内の配管中にゴミ、砂などが入りますと、故障の原因になります。フィルターはゴミ、砂などを防ぐ役目をします。フィルターが詰まると、タンクに水を溜めるのに時間が長くかかりますので掃除する必要があります。

ボールタップ

- 止水栓を通った水はここからタンクに入ります。ボールタップはタンクに入った水が、一定の高さまで溜まると浮玉の浮力によって自動的に水を止める役目をします。

排水弁

- タンクに溜まった水を便器に流したり、止めたりする弁の役目をします。

オーバーフロー管

- 万一ボールタップが故障して水が止まらなくなったとき、タンクからあふれる前に、ここから便器の方へ流す役目をします。
  なお、ボールタップからの流水量が多すぎると、その役目を十分に果たしませんので、止水栓で流水量を調節しておく必要があります。

防露層

- 水温が低く、室温や湿度が高いときはタンクの表面に露が生じ、床へ流れ落ちることがあります。防露層はこのような露を防ぐ役目をします。

レストパルSXをはじめてお使いになるときは、次の準備及び確認を行ってください。

＜自動水栓の場合＞

■ご使用前にご確認ください

電源は入っているか

コンセントに電源プラグを根元まで確実に差込んでください。

（注）
センサー内のランプは、電源を入れてから約10分間は点滅かもしくは、感知するたびに点滅しますが、故障ではありません。（ランプの点滅は約10分後に消えます）

●インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。

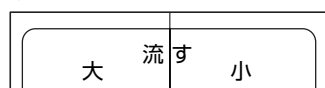
<大便器部>

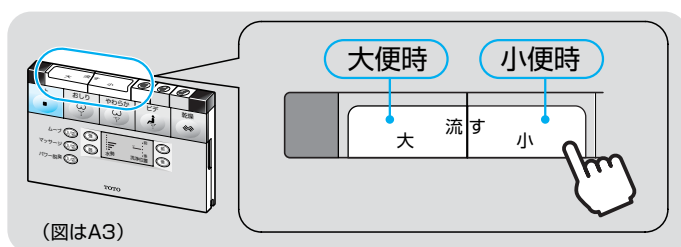
■水の流し方

水の流しかたには、リモコン便器洗浄 オート便器洗浄 があります。

リモコン便器洗浄の使いかた

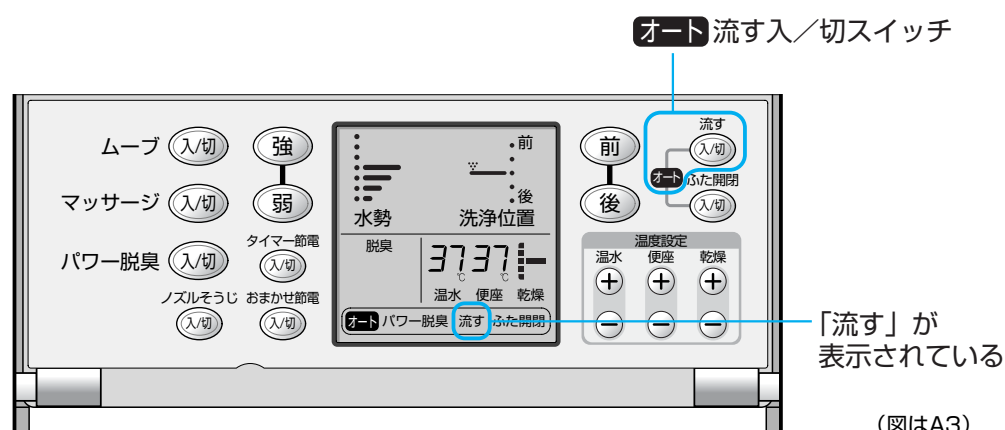
○リモコンのスイッチで大・小便を流すことができます。 アドバイス1

■ リモコンの

を押す

便器洗浄します。

（図はA3）

オート便器洗浄の使いかた

○便器から離れると自動で便器洗浄を行います。（流し忘れを防止します。）
ただし、ウォシュレットの機種によっては立って小便をした場合は、オート便器洗浄しません。リモコンで便器洗浄してください。
（ウォシュレットの機能については、ウォシュレット付属の取扱説明書をご参照ください。）

▷check リモコン表示部に「流す」が表示されていることを確認してください。

（図はA3）

アドバイス 1

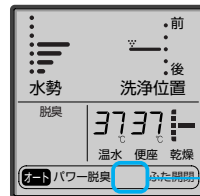
● 便器洗浄スイッチは連続して使うことはできません。次の洗浄まで約10秒お待ちください。

使いかた

オート便器洗浄を使わないとき

■ リモコンの オート 流す 入/切 を押す

オート便器洗浄をやめます。

- リモコン表示部の「流す」が消えます。
- 再び使うときは、同じ操作を行ってください。

（図はA3）

●必ずタンク内が満水になってから流してください。
タンク内が満水になる前に流すと洗浄不良や詰まりの原因となります。

●小便でも必ず水を流してください。
そのまま放置すると、小便の成分と水道水の成分が結びついて固まり、便器の洗浄不良や詰まりの原因となります。

※リモコンの電池切れ及び停電の時

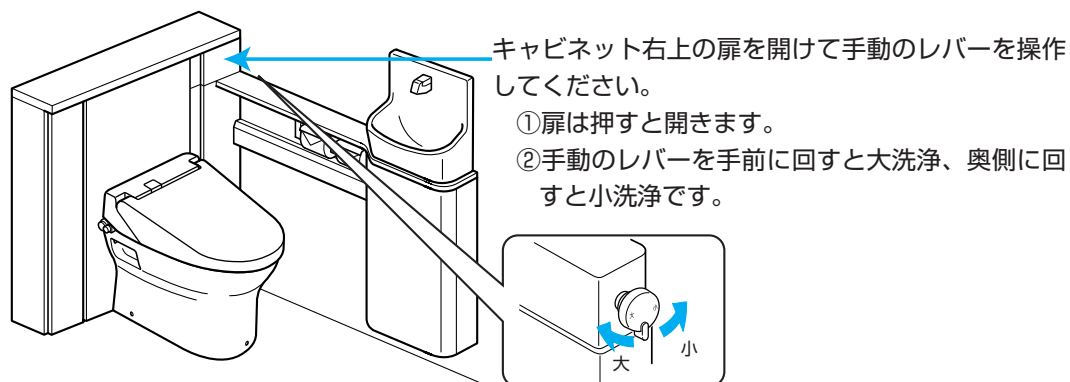
キャビネット右上の扉を開けて手動のレバーを操作してください。
①扉は押すと開きます。
②手動のレバーを手前に回すと大洗浄、奥側に回すと小洗浄です。

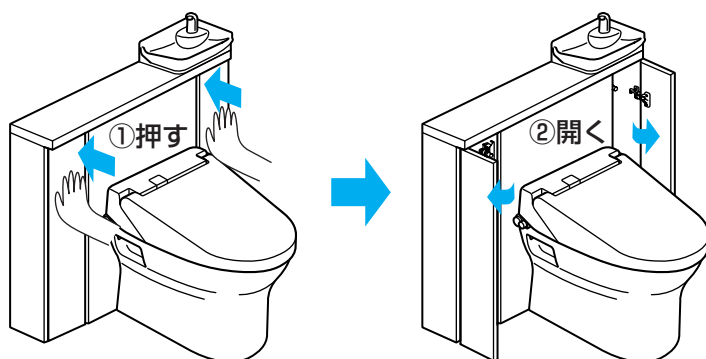
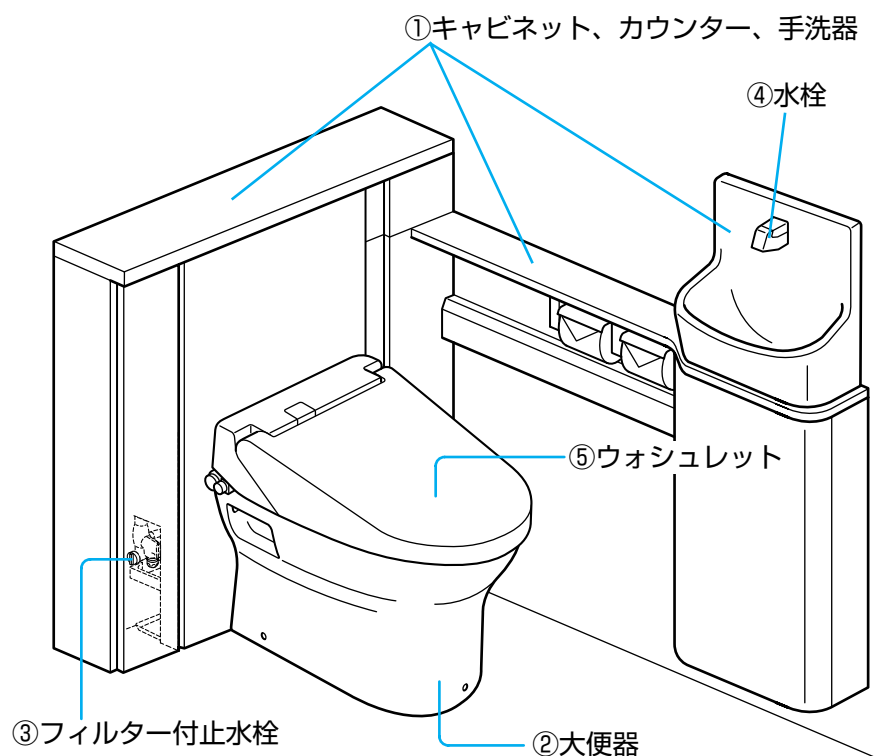
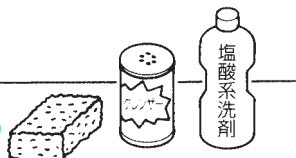
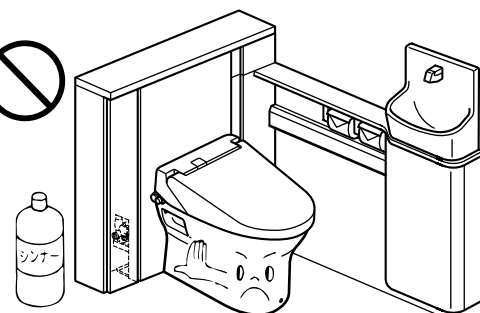
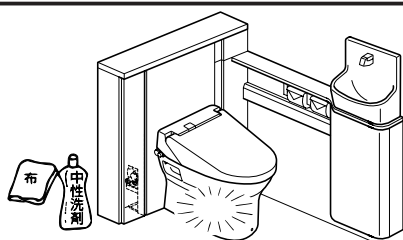
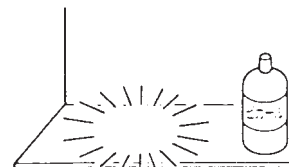
＜自動水栓の場合の作動のしくみと使いかた＞

豆知識

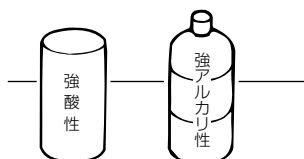
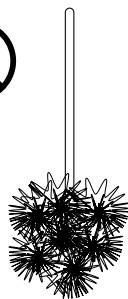
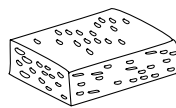
水を連続して出したいときは

・センサーは手を動かさないでいると、約15秒間で自動的に止まります。

・水をためる場合など、続けて水を出したいときは、センサー前面から約2cmの位置に白い紙など反射しやすい板状の物を感知させると、最大１分間水を出すことができます。

■ 大便器キャビネットの扉の開閉方法

大便器キャビネットの扉は押すと開きます。

いつまでも快適にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

① キャビネット、カウンター、手洗器のお手入れ

たわしやナイロンたわし、クレンザー等で洗いますと表面に傷がつきますので、絶対に使用しないでください。	シンナー、ベンジン、塩素系洗剤、強アルカリ性薬品等で拭きますと変色や変質の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

柔らかい布かスポンジに石けん又は、台所用洗剤（中性）をつけて拭いてください。その後もう一度水ぶきしてから、乾いた布で水分をきれいにふき取ってください。	手洗器、カウンターは、艶出しワックス（ピカールなど）を布につけてみがくと一層光沢が得られます。

② 大便器のお手入れ

◎ 便器用洗剤がキャビネット、カウンター、手洗器、ウォシュレットに付着しないようご注意ください。

ご注意ください！

強酸性・強アルカリ性、研磨剤入の洗剤は使用しないでください。

金属ブラシや研磨剤入りナイロンたわしなどの硬い清掃用具は表面を傷つけますので使用しないでください。

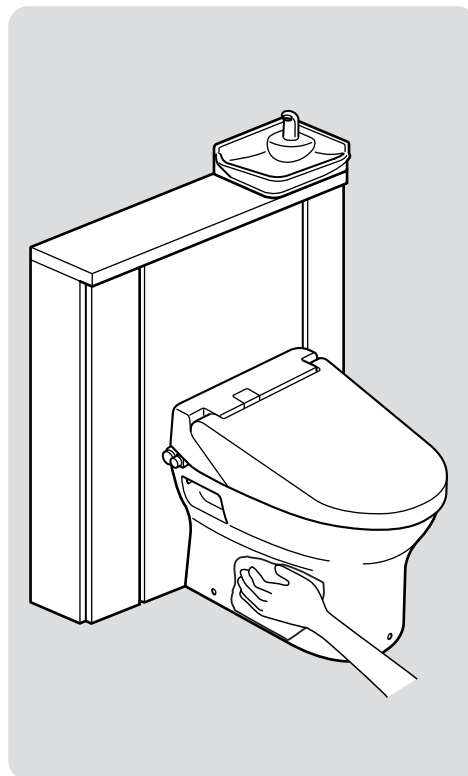
❶ 便器の外面は水ぶきする

- 洗剤使用後は水ぶきを行ってください。

❷ 便器用洗剤がウォシュレットに付着したときは…

- やわらかい布で水ぶきしてください。（プラスチックの割れや変色の原因になることがあります。）

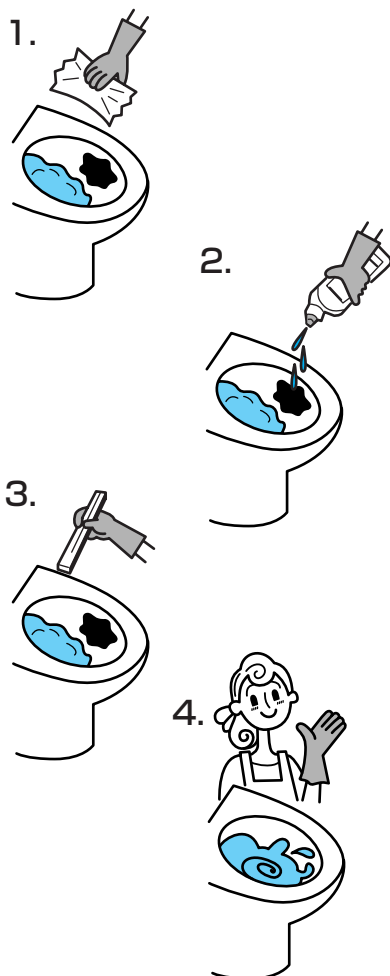
❸ ヒーター付便器のときは…

- 便器にはヒーターを組込んでいますので便器や床に水をかけないでください。また、小便などが便器から飛び散ったときは、すぐにふき取ってください。

❹ 便器内を洗剤でお手入れするときは…

- 便器内の清掃にトイレ用洗剤及び消毒剤などを使用するときは、早目（3分以内）に洗い流すとともに、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。（トイレ用洗剤などの気化ガスがウォシュレット本体内に入り、故障の原因になります。）

❺ 日頃のお手入れ

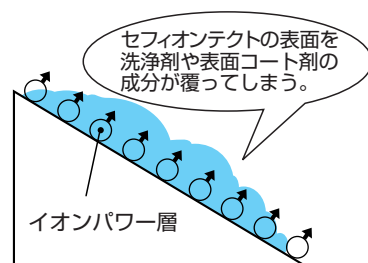
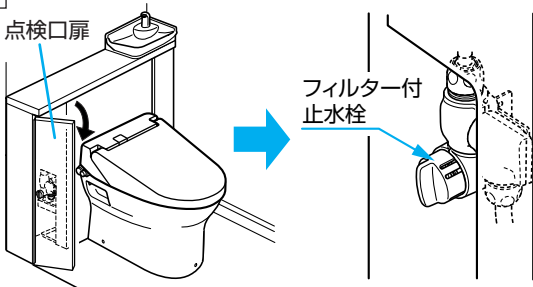
トイレはお手入れ次第で清潔さを保ち、長持ちさせることができます。
日頃からこまめにお手入れをしてください。
また、セフィオンテクト品は汚れがつきにくい特長を持っていますが、表面をきれいに保つために、日頃のお手入れが大切です。

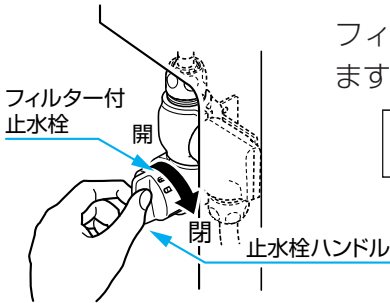
便器のお手入れ

●ちょっとした汚れの場合
掃除用ブラシやスポンジで水洗いしてください。

●水あかなどしつこい汚れの場合
1. 汚れがついた部分の水分をふき取ってください。
2. TOTOトイレのクリーナー陶器用（品番：ENL400）などのトイレ用洗剤を汚れに直接かけてください。
3. 掃除用ブラシやスポンジで、こすり洗いをしてください。取れにくい場合は割りばしなどを使ってこすり落としてください。
4. 最後に水洗いをしてください。

●吐水口まわりが汚れた場合
使い古しの子供用歯ブラシなどでお掃除してください。

ワンポイントアドバイス

●トイレ用芳香洗浄剤や表面コート剤について
トイレ用芳香洗浄剤や表面コート剤はおすすめできません。
セフィオンテクトの場合、陶器表面を傷つけることはありませんが、洗浄剤成分やコート剤成分が表面を覆ってしまい。セフィオンテクトの効果が十分発揮できなくなるおそれがあります。

③ フィルター（ストレーナ）の掃除

フィルター（ストレーナ）が詰まると、タンクへ水を溜める時間が長くなったり、手洗器の吐水量が少なくなったりします。
その際は、次の要領でフィルター（ストレーナ）の掃除を行ってください。

フィルター（ストレーナ）の掃除手順

1

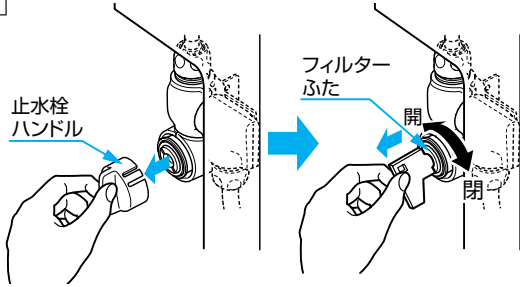
キャビネット左下の扉を開いてください。扉を奥側に押すと開くようになっています。

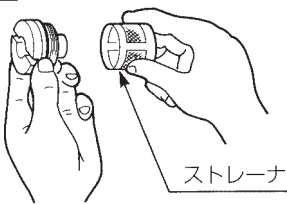
2

フィルター付
止水栓
開
閉
止水栓ハンドル

フィルター付止水栓を付属の止水栓ハンドルで閉めます。（回転しなくなるまで完全に回してください）

⚠注意

禁止

止水栓を開けたままで、フィルター（ストレーナ）をはずさない
●水が噴き出します。

3

①止水栓ハンドルを引っぱりはずします。
②ふたを付属の開閉工具又は、大きめのマイナスドライバーではずします。

4

①フィルター（ストレーナ）を取り出してブラシなどで掃除し水洗いします。
②フィルター（ストレーナ）をもとの位置にもどし、ふたを取り付けます。
③止水栓ハンドルを取り付けます。
④適正な吐水量にフィルター付止水栓を回し調整します。（止水栓の調節方法は7ページをご覧ください。）

5

1と逆の手順で扉を閉めてください。

④ 水栓のお手入れ

布を使用したお手入れ

●軽い汚れの場合

水またはぬるま湯に浸した柔らかい布をよく絞って、
スパウトおよびセンサー部の汚れをふき取ってください。

●ひどい汚れの場合

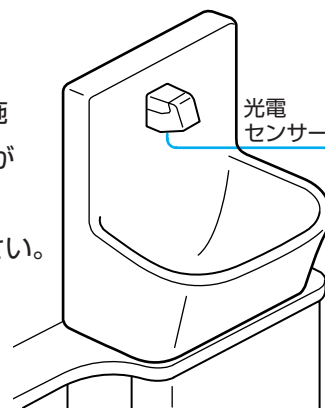
適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、
水ぶきしてください。

TOTO水あかクリーナーでの手入れ

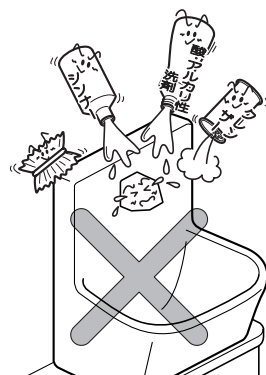
スパウトの表面に付着した水あかなどの汚れ落としには、
スパウトに傷をつけずに汚れを効果的に除去できるTOTO
水あかクリーナーのご使用をお勧めします。
お求めはお近くのTOTOショールームもしくはTOTOパーツセンター
（電話番号は裏表紙を参照ください）にお尋ねください。

品番：TH735
希望小売価格：1,100円/個（税込1,155円/個）
容量：260g
※仕様・価格は改定する場合がありますのでご了承ください。

光電センサーの手入れ

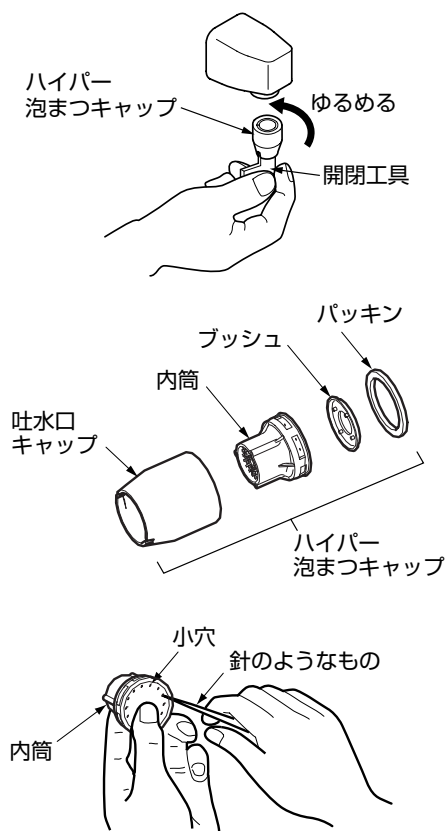
センサー部のお手入れは、6ヶ月に一度、定期的に実施
してください。また、お手入れの際はセンサー面に傷が
つかないように注意してください。
電気製品ですので、センサー部に水をかけないでください。

お願い

**スパウトの表面を傷つけるものは
使用しないでください。**

- ●TOTO水あかクリーナー以外の酸性洗剤、
  塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ●シンナー、ベンジンなどの溶剤
- ●クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を
  含んだ洗剤
- ●ナイロンたわし、たわし、ブラシなど

ハイパー泡まつキャップのお手入れ

1. 止水栓を止水栓ハンドルで閉める。
2. ハイパー泡まつキャップを付属の開閉工具で外す。

   泡まつキャップを外す際に、開閉工具にてセンサー面を傷つけないようにご注意ください。
3. パッキンを先端の細い針金などで取り外す。
4. ブッシュ(白色)を取り外し、内筒を取り出す。
5. 内筒の小穴にごみなどがないか確認する。
6. ごみなどが小穴を塞いでいる場合は、針のような先端の尖ったもので取り除く。
7. ハイパー泡まつキャップに内筒・ブッシュ・パッキンの順に入れ、取り付ける。

   泡まつキャップは手で締め付け、固くなった位置から約90°開閉工具で締め付けてください。

⚠注意

必ず守る

パッキンは必ず吐水口キャップ内の溝に挿入する
- 水漏れの原因になります。

⑤ ヒーター用プラグのお手入れ

⚠警告

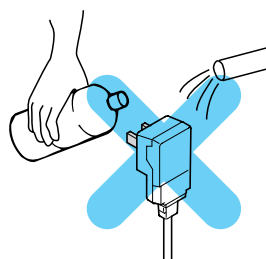
必ず守る

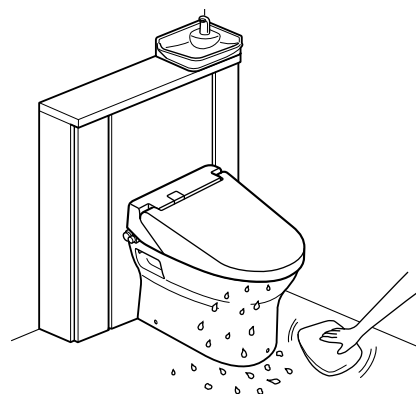
必ずセンコントより抜いてから行う
- 感電の原因になります。

●水またはぬるま湯に浸した布をよく絞ってふきとり、そのあと必ず乾いた布で水気をふきとってください。

⚠警告

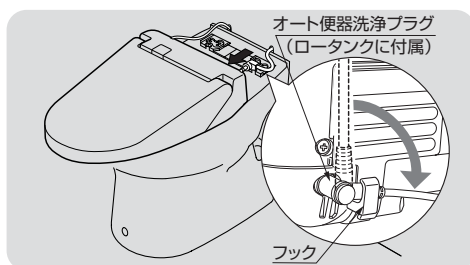
禁止

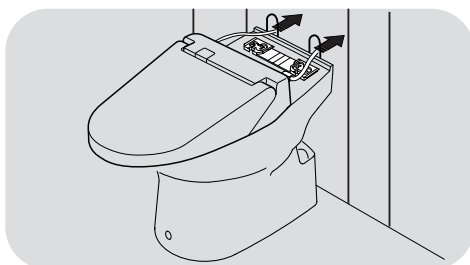
水をかけたり、酸性やアルカリ性洗剤およびシンナーなどは使用しない
- 火災や感電、故障（損傷）の原因になります。

⑥ 床のお手入れ

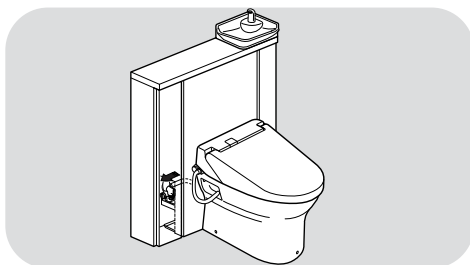
●便器から飛び出した小便や器具についた露が床に落ちたときは、よく絞ったぞうきんでふき取ってください。
●お掃除の際、床に落ちた洗剤や水もよく絞ったぞうきんでふき取ってください。

ご注意ください！

必ず守る

床に落ちた小便、露、洗剤、水などは必ずよく絞ったぞうきんでふき取ってください。
放置しておくと床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれがあります。

■ウォシュレットのコード、ホースをキャビネットの中におさめる際の注意

❶接続プラグの接続

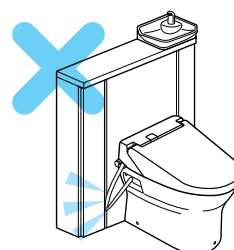
ロータンクに組み込まれているオート便器洗浄プラグは、ウォシュレット背面の接続口に上図点線の位置より差し込み、矢印の方向に回転させながらフックに掛ける。
差し込むのを忘れますとオート便器洗浄・リモコン便器洗浄ができなくなります。

❷コードをおさめる

キャビネット左下の扉を開けコードを前板の切り欠き部よりキャビネット内部に引き込み少しずつおさめてください。（扉は押すと開きます）

❸ホースをおさめる

ホースが折れないように注意しながらたるまない程度にキャビネットの中に引き込んでおさめる。

⚠注意

連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない
● 水漏れの原因になります。

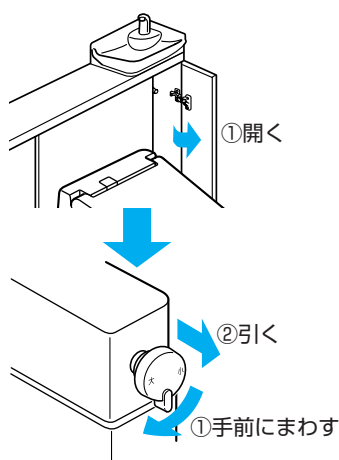
禁　止

凍結が予想されるとき

◎ 製品が凍結すると機器が破損し水漏れの原因となります。
◎ 凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
凍結のおそれがある場合は、トイレ内は暖房などをして周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
◎ なお、暖房ができない場合は、次の通りです。

周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ内を暖めるか、できないときは、水抜きを行なってください。

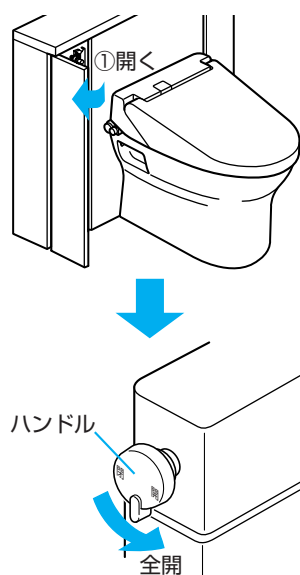
〈大便器ロータンク部〉

水抜方式の場合

ヒーター用プラグをコンセントに差し込んでください。

❶ キャビネット右上扉を開ける。
（扉を押すと開きます）

❷ 手動式レバーを手前側（矢印の方向）いっぱいに回したまま外側に引く（レバーがロックされます）。その後水抜栓を操作して水を抜く。

❸ 再び使用する前には手動レバーを内側に押し込んで下向きにし、水抜栓を操作して通水状態にする。

流動方式の場合

❶ キャビネット左上の扉を開ける。

❷ タンク左横に取付けてある流動金具のハンドルを全開にする。

❸ 便ふたを閉めておく。
※便ふたを閉めない場合、便器に氷がはり、１回の洗浄で氷が流れていかない場合があります。

●この便器の凍結予防限界温度は、【水抜方式（室内暖房併用）：0℃、水抜方式（ヒーター付便器併用）：-15℃、流動方式：-10℃】です。
限界温度以下になる場合は、暖房などにより限界温度以上の室温に保ってください。

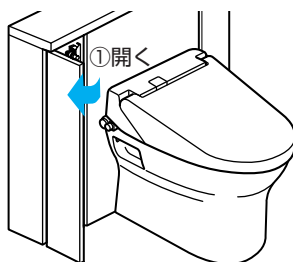
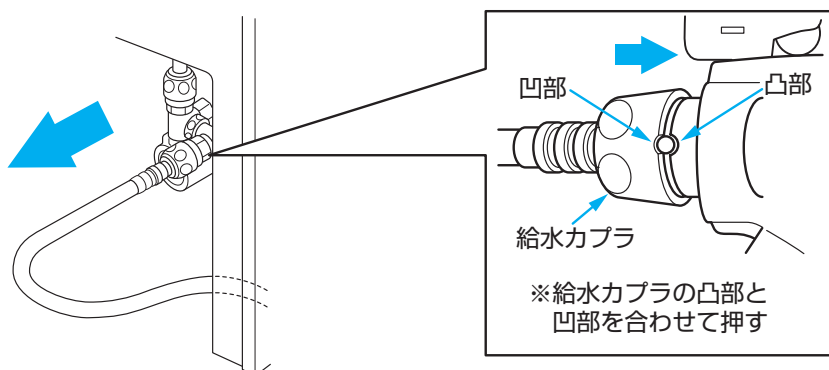
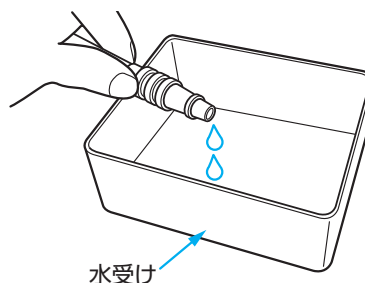
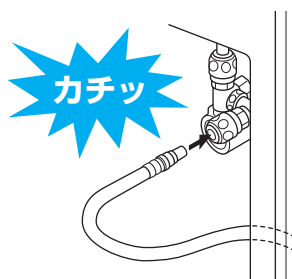
〈ウォシュレット部〉

■水を抜く場合

ウォシュレットの中の水を抜いてください。
詳しくは、「レストパルSX用ウォシュレット」取扱説明書内の
凍結が予想されるとき をご覧下さい。

ウォシュレット給水ホース内の水を抜く

「レストパルSX用ウォシュレット」取扱説明書内の 凍結が予想されるとき
2 配管の水を抜くの ❹ 項のかわりに以下の作業を行ってください。

❶ キャビネットの左側を開ける。

❷ 分岐金具からウォシュレット給水ホースを抜く。

❸ 水受けでウォシュレット給水ホース内の水を受け止め、ホース内の水を抜く。

❹ 再びウォシュレット給水ホースを給水カプラにつなぐ。

⚠注意

カチッと音がするまで
きっちりと差し込む

- 漏水のため家財に損害を
  与えるおそれがあります。

〈手洗部〉

水を抜く場合

※自動水栓の場合、水抜きは出来ません。

■事前に、手洗器給水管用の水抜栓（現場手配）を排水（水抜）側に切替えてください。

❶水栓のハンドルを開にする。

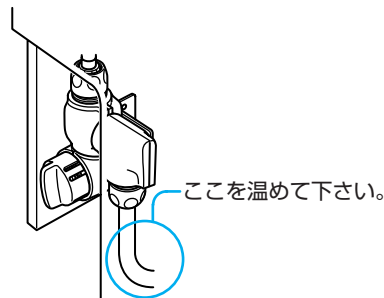
❷水を抜き終ったら、水抜栓を閉める。

水を流し続ける場合

■水栓のハンドルを開にして、少量の水を流し続けてください。

※自動水栓の場合、水を流し続けることはできませんので、トイレ内は暖房などをして周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

水抜き後の再通水

※再通水した際にハンドル式水栓の水が出ないときは、キャビネット左下の扉をあけてホースとワンタッチソケットの連結部をお湯に浸した布であたためてください。

長期間使わないときの処置

水が腐敗して皮膚の炎症などを起こす原因になります。
また、製品が破損するおそれがありますので水抜きを行ってください。

水抜きのしかた

❶止水栓を閉める（一般地、流動方式の場合）、または水抜栓を操作して、給水を止める。（水抜方式（室内暖房併用）、水抜方式（ヒーター付便器併用）の場合）

❷ロータンクの水を抜く。

☞ 19ページ（ただしヒーター用プラグは外してください。）

❸配管の水を抜く。

☞「レストパルSX用ウォシュレット」取扱説明書内 長期間使わないときの処置

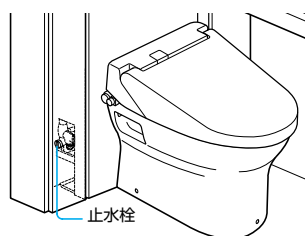
❹ウォシュレット給水ホース内の水を抜く。☞ 20ページ

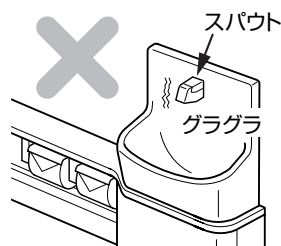
アドバイス 1

【水抜きをしましょう！】

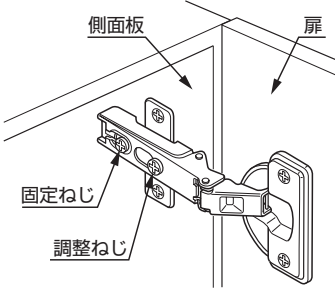
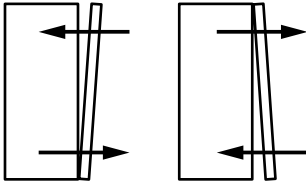
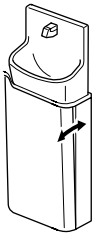
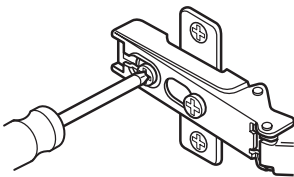
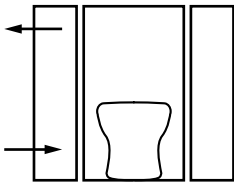
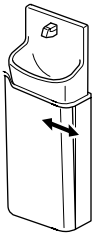
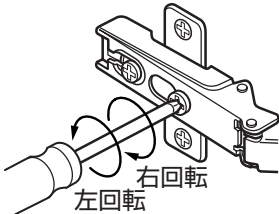
- 冬季に帰省されるとき
- 別荘などで使用されるとき

冬季の留守のときは冷え込みが厳しくなります。凍結予防のために、必ず水抜きをしてください。

■ 漏水などの事故を未然に防ぐために、定期的に以下の点検を行ってください。

定期的に、キャビネット扉を開け、配管の周り（キャビネット内）を見て、水漏れがないか確認してください。
（部品の劣化、摩耗などによる漏水が発見できず、家財などを濡らすおそれがあります。）

禁　止

手洗器にセットされているスパウトの固定がゆるんだまま使用しない。
（L型のみ）
● スパウトの固定がゆるんだまま使用すると漏水の原因となります。

漏水や、水栓のゆるみを発見された場合には、15ページの要領（フィルターの掃除）でフィルター付止水栓を止め、お取付け工事店、販売店または東陶メンテナンス（株）フリーダイヤル0120-1010-05に修理を依頼してください。

〈フィルターの詰まり〉

点検の目安：１回／半年

◎ フィルターが詰まると、タンクへ水を溜める時間が長くなったり、手洗器の吐水量が少なくなったりします。
その際は、フィルターの掃除を行ってください。 ☞ 15ページ

〈扉の調整方法〉

キャビネットの扉が長年の使用で隙間が不均一になったときは次の要領で調整してください。

扉がゆるんだ時	前後調整	左右調整
側面板　扉 固定ねじ 調整ねじ 丁番の固定ねじを締めてください。	〈大便器キャビネット〉 〈手洗器キャビネット（L型の場合のみ）〉 丁番の固定ねじをゆるめて調整した後、締め直してください。	〈大便器キャビネット〉 図のような場合 上は左回し　下は右回し 〈手洗器キャビネット（L型の場合のみ）〉 調整ねじをまわして左右調整してください。 右回転 左回転

故障かな？と思ったらまずこの章をご覧になり、処置方法をためしてみてください。
それでも直らないときは、お取付け工事店・販売店または東陶メンテナンス（株）にご相談してください。

〈大便器部〉

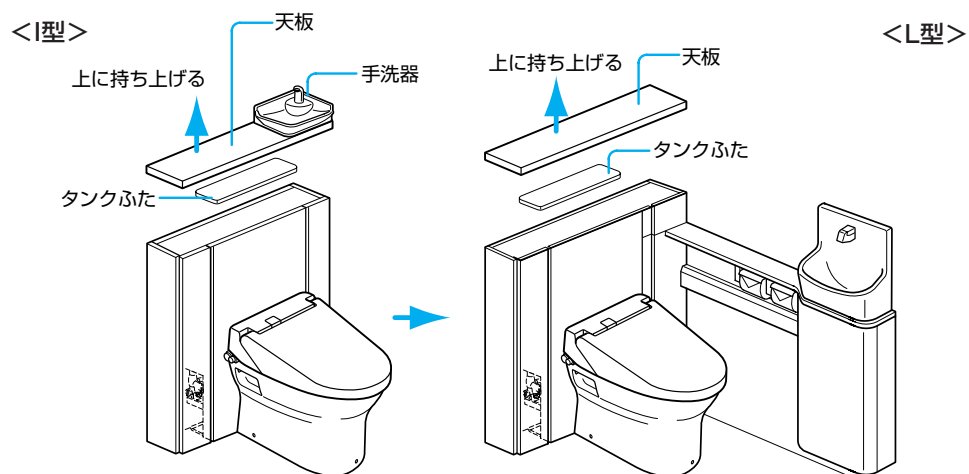
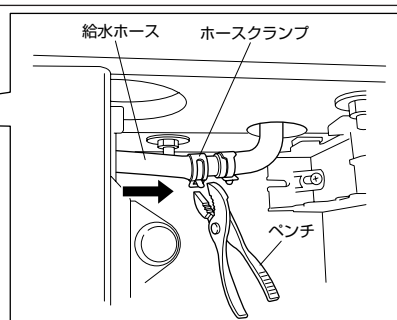
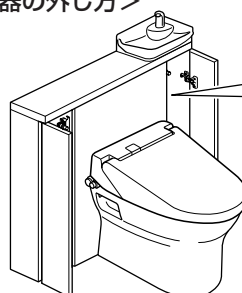
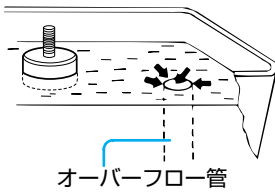
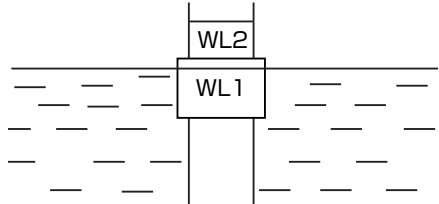
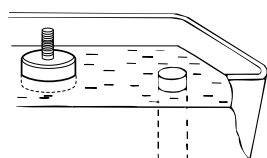
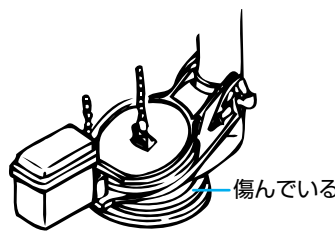
◎ 簡単に直らない故障の場合は、故障の状態をご確認の上、お取付工事店か役所の指定工事店に修理を依頼してください。
◎ 指定工事店がわからないときは役所の上下水道担当窓口にご相談ください。

■ 修理を依頼される前に

◎ 大便器には、水が止まらない、タンクに水が溜まらないなどの故障がときとして起こる場合があります。むずかしい故障は専門の工事店さんに任せるとしても、まず診断して、簡単な故障はご家庭で修理されてはいかがでしょうか。

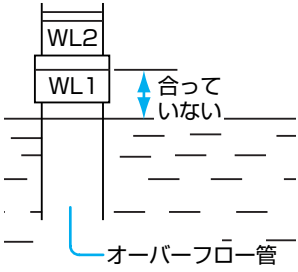
◎ ご家庭で修理される場合は、下記①～④の操作後に次ページ以降の表にしたがい修理してください。

① キャビネット左の扉を開けて止水栓を閉める。（付属の止水栓ハンドルで右に回す）
※「フィルター（ストレーナ）の掃除手順」15ページを参照してください。

② キャビネット天板とタンクふたを外す。（I型手洗器付の場合は手洗器も一緒に外して下さい）

上図のホースクランプをペンチで外す

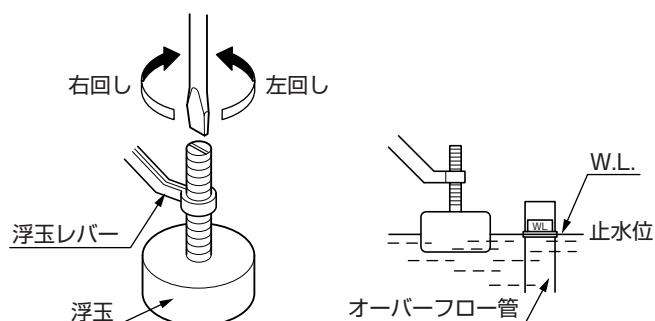
③ 下図のように手洗給水ホースを下向きにしてタンク内に差し込む。（I型手洗器付の場合）

※吐水させたときに、水が給水管先端からタンク外にこぼれ、床等をぬらすことがありますので、ご注意ください。

④ 止水栓を開けて（付属の止水栓ハンドル又はマイナスドライバーで左に回す）、タンクに給水させて、その時の状態を確認する。

現　象	原　因	処　置
水が止まらない （1）あふれている オーバーフロー管	ボールタップの弁座パッキンの摩耗などにより、止水位が高くなって生じることがあります。	止水位がオーバーフロー管のWLに合うように、ボールタップの水位調節部を操作してください。 調節方法は下記「止水位が合っていないときは」をご覧ください。 もし、この調整をしても直らないときは修理を依頼してください。 WL2 WL1
（2）あふれていない	排水弁のパッキンがいたんでいるために水がとまらないことがあります。 傷んでいる	パッキンは消耗品です。傷んだら新しいものと交換してください。 パッキンを交換する場合には、29ページの要領で行ってください。

※部品の購入に関しましては、TOTOパーツセンター（0120-8282-55）へお問い合わせください。

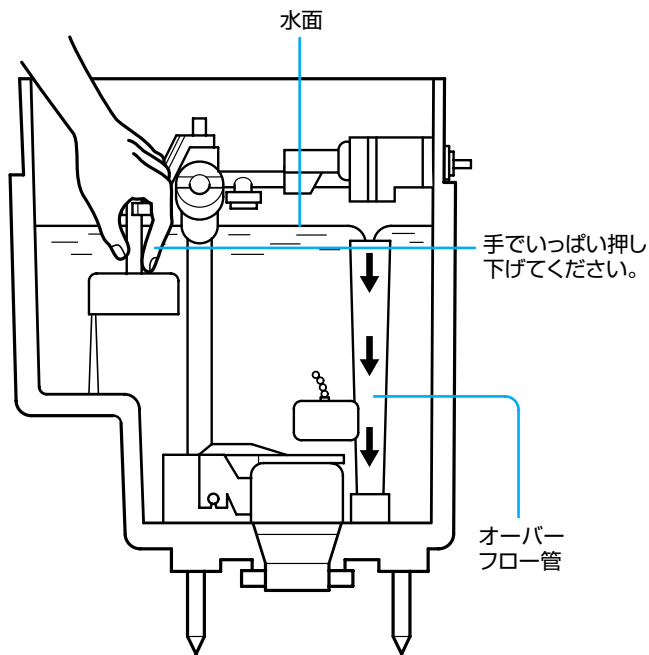
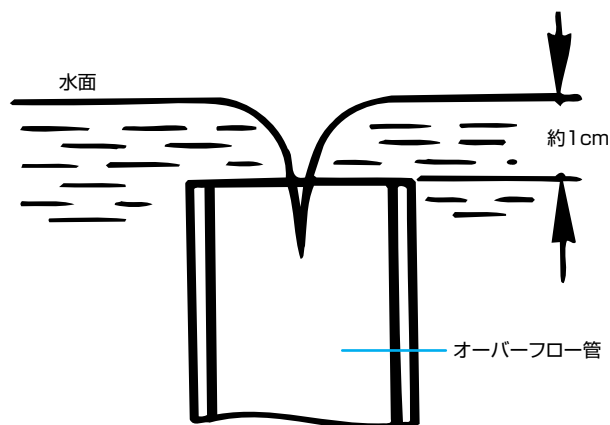
止水位が合っていないときは

- 浮玉をドライバーで回すか、又は手で持って回すと水位を上下させることができます。そのとき、浮玉レバーを軽く手で持っておくとスムーズに回せます。
- 水位を下げたいときは右方向に、水位を上げたいときは左方向に回してください。浮玉を上下させた量だけ水位が変わります。（1回転で約3mm上下します。）

現　象	原　因	処　置
便器の流れが悪い …止水位がオーバーフロー管の黒線（標準水位）と合っていない WL2 WL1 合って いない オーバーフロー管	止水位調整不良	26ページの要領で止水位を調整して下さい。
水が出ない …タンクに水がたまらない（ボールタップから吐水しない）	フィルターにごみが詰まっている。	15ページの要領でフィルターの掃除をしてください。それでも直らないときには修理を依頼してください。
	フィルター付止水栓が開いていない。	フィルター付止水栓を開いてください。
水の出が悪い …タンクに水がたまるのが遅い（目安2分以上）	フィルターにごみが詰まっている。	15ページの要領でフィルターの掃除をして下さい。それでも直らないときには修理を依頼してください。
水が漏れる 床と便器の間、および、キャビネット内部底板に水が漏れている	止水栓、給水管の結露 （結露は梅雨時期などに多く発生するもので故障ではありません）	乾いた布で拭きとって部屋の換気をしてください。
	上記以外	止水栓を閉めて修理を依頼してください。

※ 修理後の注意

① 止水栓を開き、キャビネット扉を元に戻してください。
　（止水栓ハンドルで左に回す）
② 浮玉および排水弁がスムーズに動くか確認してください。

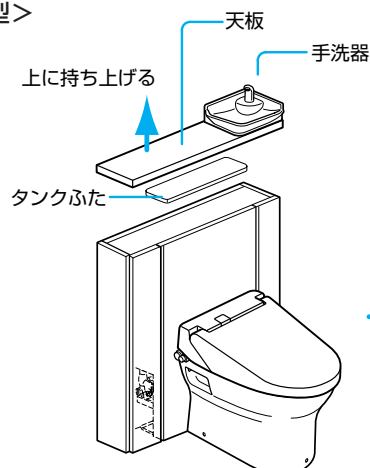
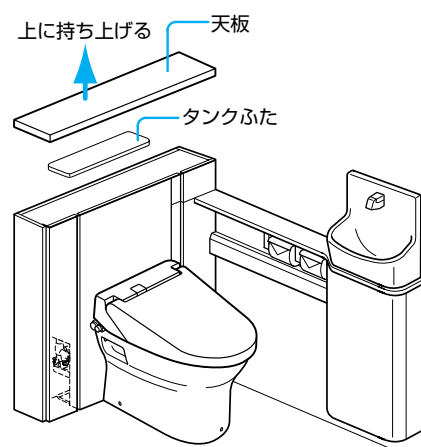
タンクから水をあふれさせないために

◎ 万一ボールタップの故障で水がとまらない場合でもタンクから水があふれないようにするために次の要領で調節を必ず行ってください。

フィルター付止水栓を全開にし、浮玉を押しさげオーバーフロー管へ水をあふれさせます。このとき水面が、オーバーフロー管より1cm以上上昇しない程度にフィルター付止水栓で調節してください。

フィルター付止水栓のない場合

（1）元バルブをしめてください。

（2）次に浮玉を押しさげて元バルブを徐々に開いてください。

この状態で水面がオーバーフロー管より1cm以上上昇しない程度に元バルブの開きを調節してください。

※タンクのメンテの際にはキャビネット天板とタンクふたを外してください。
（I型手洗器付の場合は手洗器も外してください。I型手洗器の外し方は24ページをご参照ください。）

排水弁パッキンの交換

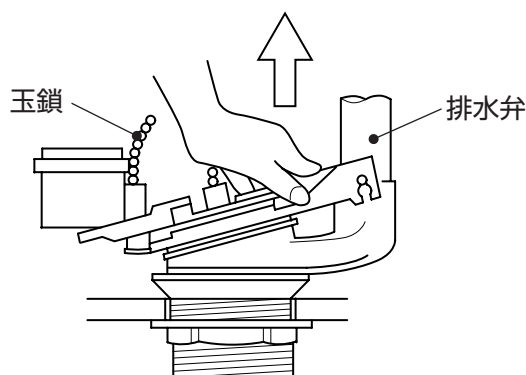
補修用部品

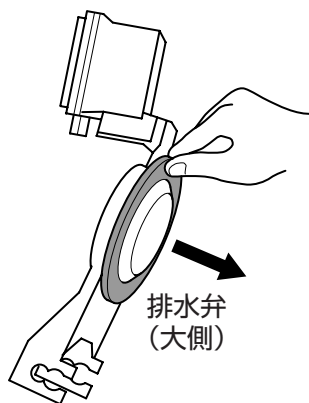
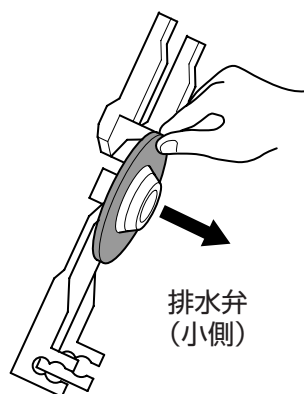
排水弁パッキン（大側）　　品番：93500E　　130円（税込137円）
排水弁パッキン（小側）　　品番：91942E　　80円（税込 84円）
※排水弁パッキン交換の際は、大側、小側パッキンを一緒に交換してください。
※仕様・価格は改定する場合がありますのでご了承ください。

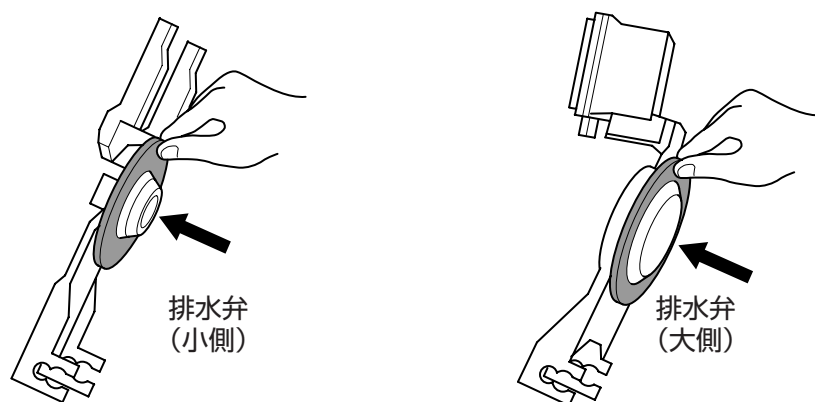
1 止水栓を閉めてからタンク内の水を流してください。

（止水栓ハンドルを右に回します。）

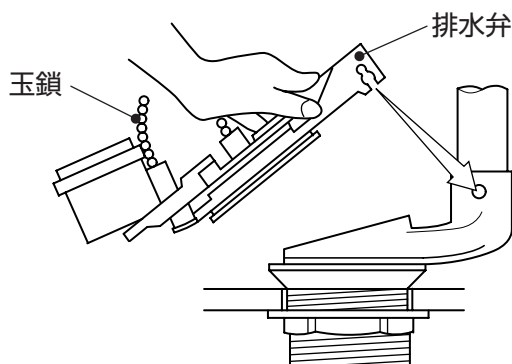
2 天板とタンクふたを外してください。

3 排水弁を取り出してください。

左図のように排水弁の根元を持ち、上向きに引き上げて外してください。

4 古いパッキンの端をつまんでめくるように外してください。

5 前項と逆の手順で新しいパッキンを取り付けてください。

⚠注意

パッキン面にうねりやごみの付着がないように取り付ける
うねりやごみの付着があると止水不良になります。

6 排水弁、玉鎖が外れてしまった場合は止水不良となりますので正しく取り付けてください。

⚠注意

玉鎖が交差しないように取り付ける
玉鎖が交差したり、排水弁が確実に差し込まれないと止水不良になります。

7 タンクのふたと天板を元に戻してください。

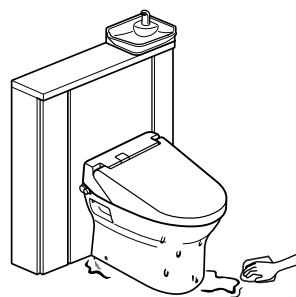
8 止水栓を開き（止水栓ハンドルを左に回します）タンクに給水させて水が止まったことを確認してください。

〈手洗器部〉

現　象	原　因	処　置
水が出ない	自動水栓の場合、コネクターが差し込まれていない。	コネクターを差し込んでください。
	フィルターや吐水口にごみが詰まっている。	15ページの要領でフィルターの掃除をしてください。それでも直らないときには修理を依頼してください。
	フィルター付止水栓が開いていない。	フィルター付止水栓を開けてください。
	自動水栓の場合、電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	停電中又は断水中である。	回復するまでお待ちください。
	自動水栓の場合、光電センサーの前に障害物がある。	障害物をとり除いてください。
	自動水栓の場合、光電センサーの表面が汚れている。	16ページの要領で光電センサーの表面を掃除してください。
流量が少ない	フィルターや吐水口にごみが詰まっている。	15ページの要領でフィルターの掃除をしてください。それでも直らないときには修理を依頼してください。
	フィルター付止水栓が十分に開いていない。	7ページの要領でフィルター付止水栓を十分開くように調整する。
	水圧が低い。	分岐金具に内蔵している定流量弁をはずしてください。（修理を依頼してください）
水が止まらない	自動水栓の場合、光電センサーの前に障害物がある。	障害物をとり除いてください。
	自動水栓の場合、光電センサーの表面が汚れている。	16ページの要領で光電センサーの表面を掃除してください。

万一上記の箇所を調べてみても、止水しない場合は、フィルター付止水栓を閉めて修理を依頼してください。

便器まわりにできる黒いシミの原因は？

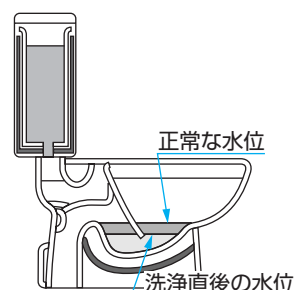
立位で小便をする際に、便器内のあたる場所によっては小便が跳ね返る場合があります。特に、木質系のフローリング床では便器内で跳ね返った小便やお子様などが便器外に小便を飛散させたなどそのまま放置されると、小便中のアンモニアによって黒いシミが発生することがあります。また、梅雨時の結露の水も放置されますと黒いシミが発生することがありますので、床にこぼれた水分は、すぐに拭き取るようにしてください。

トイレを使ったときの、あのイヤな「おつり」はなくせないの？

トイレ使用時の水はね、俗にいう「おつり」は便器に水たまりがあることが原因です。
汚物の形や量などによっては水がはねかえってくることがありますが、この水たまりには下水からの臭気を遮断する大切な役目があるため、なくすわけにはいきません。汚物の形状は一定ではないため、完全にはなくせないのが現状です。水たまりにあらかじめトイレットペーパーを浮かべておくと、多少おつりは予防できますので試してみてください。

便器内の黒い色やピンク色に変色する汚れの原因は？

便器の溜水部や水出し穴付近などが黒く変色したり、ピンク色の汚れがつくことがあります。これは空気中に浮遊しているカビの胞子やバクテリアが便器に付着した汚れを栄養にして繁殖したものです。汚れた場合は、トイレ用中性洗剤をトイレブラシなどにつけてこすり落としてください。

便器洗浄後、なぜすぐに水は止まらないの？

サイホン作用を利用する便器では、便器洗浄時にサイホンが起こり、便器に溜まった水がほとんどなくなってしまいます。このままの状態では臭気があがってきたり、次の洗浄のときに支障が出るため、元の位置まで水を戻しておく必要があります。そのためこのタイプの便器では、便器洗浄後約1分間水を補給するしくみになっております。

11 アフターサービス

修理を依頼される前に、「故障かな?!と思ったら」の項をご確認ください。

●保証書（35ページに記載してあります。）

- この説明書は保証書付です。必ず「お取付店名、お取付日」などの記入をお確かめになり保証書をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お取付日から自動水栓・電気温水器等の電気機器に関しては1ヵ年、本体部分に関しては2ヵ年です。

●補修用性能部品の最低保有期間

- 補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。
  なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

●部品の交換について

- 無料修理により取り外された部品・製品は、東陶機器㈱の所有となります。

●保証期間中に修理を依頼されるとき

- もう一度説明書をよくお読みいただきご確認のうえ、なお異常のあるときにはお求めのお取付店、販売店または**東陶メンテナンス(株)**に修理を依頼してください。
  保証書の記載内容により修理いたします。
- 修理を依頼されるときは必ず保証書をご提示ください。

連絡していただきたい内容

■ご住所、ご氏名、電話番号
■製品名・・・・レストパルSX
　お取付日・・※35ページの保証書をご覧ください。
■訪問ご希望日

［お客様の個人情報のお取扱い］
お客様からお預かりした個人情報は、関連法令および社内諸規程に基づき慎重かつ適切にお取扱いします。
詳細はTOTOホームページをご覧ください。

●保証期間経過後修理を依頼されるとき

- お求めのお取付店、販売店または**東陶メンテナンス(株)**にまずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理します。

定期点検のおすすめ（有料）

- 逆止弁は3年毎に交換してください。
  逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては、水が逆流するおそれがあります。
- ウォシュレットの逆流防止装置（バキュームブレーカー・Oリング）は必ず6年毎に定期点検を行ってください。(水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。)
- ウォシュレットの機能部品は、お取付日より3年以上たったものは定期点検をおすすめします。なお、点検は**東陶メンテナンス(株)**にご依頼ください。

＜お問い合わせ先＞
東陶メンテナンス(株)　TEL **0120-1010-05**
　　　　　　　　　　　FAX **0120-1010-02**
受　　付（年中無休）
受付時間：関東・甲信越地区　8：00～20：00
　　　　　上記以外の地区　　9：00～20：00
訪問修理（年中無休）
営業時間：　　　　　　　　　9：00～18：00

●定期点検を行った日付を記入しておきましょう！

	日　付
お取付日	
1回目点検日	
2回目点検日	
3回目点検日	

修理料金のしくみ＜東陶メンテナンス(株)にご依頼の場合＞

修理料金は **技術料** ＋ **部品代** ＋ **出張料** で構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品代です。

出張料 は、商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

こんなときは

12
仕 様

仕　様（自動水栓）

項　目		内　容
電源		AC100V　50/60Hz
消費電力		常時0.4W（作動時0.6W）
電源コード		ビニルコード有効長　2.9m
給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa（流動時）
	最高水圧	0.75MPa
周囲使用温度範囲		0℃～55℃
周囲使用湿度範囲		99%RH以下
感知距離		130～200mm（白紙300の場合） ※ただし学習方式による感知距離変化型 （セットアップされる陶器により自動で感知距離を設定します。）
流量調節		給水金具の定流量弁（2L/分）により上限カット。 必要に応じ止水栓にて流量調節可能

TOTO®

保 証 書

<table>
<tr><td>品　名</td><td colspan="3">レストパルSX</td></tr>
<tr><td>品　番</td><td colspan="3">UWS～　　PALA～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保証期間</td><td>本体</td><td colspan="2">お取付日から2ヵ年</td></tr>
<tr><td>電気機器</td><td colspan="2">お取付日から1ヵ年</td></tr>
<tr><td rowspan="2">お客様</td><td colspan="3">おなまえ　　　　　　　　　　　　　　　　様</td></tr>
<tr><td colspan="3">おところ〒</td></tr>
<tr><td>お取付店名</td><td colspan="3">㊞
〒　　　　　　　　TEL　　　—　　　—</td></tr>
<tr><td>お取付日</td><td colspan="3">年　　月　　日</td></tr>
</table>

この保証書は、保証書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げ日から左記期間中故障が発生した場合は、この保証書をご提示のうえ、販売店又は東陶メンテナンス（株）
0120-1010-05に修理をご依頼ください。

★お客様へ
本書をお受け取りになるときに、販売店名、扱者印、お買い上げ日が記入されていることを確認してください。
本書は再発行いたしませんので大切に保存してください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で故障した場合は、表記の期間無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お取付店または東陶メンテナンス㈱にご依頼のうえ、出張修理に際してこの保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお取り付店にご相談ください。
4. ご贈答品などでこの保証書に記入してあるお取付店に修理がご依頼できない場合には、東陶メンテナンス㈱にご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   - 使用上の不注意、過失による不具合および不当な修理や改造による故障及び損傷。
   - お取付後の移設などに起因する故障及び損傷。
   - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害やガス害（硫化水素ガス）、塩害、異常電圧による故障および損傷。
   - 指定外の電源（電圧・周波数）、異常水質による故障および損傷。
   - 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輌、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
   - 砂やゴミかみによる不具合および乾電池、パッキンなど消耗品の損傷。
   - 日常のお手入れ箇所（水抜栓やフィルターなど）のOリングやパッキンの摩耗・劣化による損傷。
   - この保証書の提示がない場合。
   - この保証書にお客様名・お取付店名・お取付日の記入のない場合、あるいは字句を書替えられた場合。
6. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. この保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
8. 無料修理により取り外された部品、製品は東陶機器㈱の所有となります。

※この保証書は上記に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、TOTOお客様相談室または東陶メンテナンス㈱にお問合わせください。

東陶機器株式会社
〒802-8601　福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1
お客様相談室　TEL　0120-03-1010

TOTO

東陶機器株式会社

修理･取扱いのご相談は
まずお求めの取付け店･販売店へ

取付店	〒
販売店	印 電話 ―

転居や贈答品などでお求めの取付店･販売店へご相談できない場合は下記TOTO窓口へ

お客様専用窓口

商品のお問い合せは → TOTOお客様相談室へ
TEL 0120-03-1010
FAX 0120-09-1010
受付時間：平日 **9：00～18：00**
土･日･祝日 **10：00～18：00**
（夏期休暇･年末年始を除く）

補修用部品のご購入は → お近くのDIY･ホームセンター、お求め取付工事店又はTOTOパーツセンターへ
TEL 0120-8282-55
FAX 0120-8272-99
受付時間：平日 **9：00～18：00**
土･日･祝日 **10：00～18：00**
（夏期休暇･年末年始を除く）

修理のご用命は **365日修理対応** → 東陶メンテナンス（株）へ
TEL 0120-1010-05
FAX 0120-1010-02
受付（年中無休）
受付時間：関東･甲信越地区 **8：00～20：00**
上記以外の地区 **9：00～20：00**
訪問修理（年中無休）
営業時間： **9：00～18：00**

インターネットホームページ　**http://www.toto.co.jp/**

UGX1008R

レストパル SX